



◆アレルギー支援ネットワーク 通信◆



NO. 100 2015. 4. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

春らしい暖かさが続き、桜の木も日に日に花開き、草花もきれいに色づく季節となってまいりました。春の訪れとともにアレルギー支援ネットワークも新しいメンバーを迎え、2015年度がスタートいたしました。

そして、嬉しいことに当メルマガ「アレルギー支援ネットワーク通信」が今月号で100号となりました。皆様のご支援、ご協力のおかげと感謝申し上げます。

メルマガ100号記念としまして、「アルファ化米キャンペーン」を開催しておりますので、是非ご利用下さい。

これからも皆様のお役に立つ最新情報をお届けいたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。それでは、今月のメルマガをお楽しみ下さい♪

===== も く じ =====

- 1、メールマガジン100号を迎えて 副理事長（メールマガジン担当） 小川雄二
  - 2、☆★アレルギー支援ネットワークメールマガジン発行100号記念★  
食べながら備える!!『アルファ化米（特定原材料等27品目不使用）』普段から食べてみようキャンペーン
  - 3、第10期アレルギー大学 申込み受付のご案内
  - 4、2015年度総会開催のご案内
  - 5、【2015年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ
  - 6、アレルギーっ子フェア開催（3月7日・8日）のご報告
  - 7、第12回 千葉アレネット情報
  - 8、東海アレルギー連絡会・交流会 開催のお知らせ
  - 9、アレルギーっ子の防災
    - ★東日本大震災におけるアレルギー患者家族の支援活動最終報告
    - ★★第18回「アレルギー患者団体の共助の仕組みづくりー2」防災士中根輝彦
    - ★★★防災にかける思い アレルギーっ子親の会「はすの会」下山まきえ
  - 10、アレルギーが心配な保護者の方へ
    - ★食物アレルギー対応クッキング&プチ講座 開催決定！！  
テーマ『食品の低アレルゲン化について～安全に食べるということ～』
    - ★★4月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
  - 11、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ
  - 12、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！
- =====

---

1、メールマガジン100号を迎えて  
アレルギー支援ネットワーク副理事長（メールマガジン担当） 小川雄二

---

2007年1月以来、毎月1回1日に皆様にお送りしておりますメールマガジン「アレルギー支援ネットワーク通信」は、本号で記念すべき100号を迎えることができました。毎月お読みいただいた読者の皆様、そして執筆して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

メールマガジンは、アレルギー支援ネットワークの目的である「科学的知識の普及」「各分野・個人の経験交流」のために欠かせない媒体です。現在1,191名（2015年3月3日現在）の方にお読みいただいています。

原稿は、皆様に無報酬で執筆していただいています。それを、担当スタッフが編集し、原稿に間違いなどが無いかをチェックして毎月1日にお送りしています。原稿のチェックをする際には、趣旨を変えない範囲で読みやすい文章にさせていただく場合があります。

「科学的知識の普及」「各分野・個人の経験交流」のために、これからもより充実した、読みやすいメールマガジンをお送りできるように努力して参ります。

読者の皆様からも、ご意見、ご要望さらには情報をお寄せいただけましたら幸いです。

なお、メールマガジンのバックナンバーは、アレルギー支援ネットワークのホームページからご覧いただくことができますので、「連載をまとめて読みたい」「昔の記事を読みたい」といった場合などにご利用ください。

<http://www.alle-net.com/aboutus/aboutus01/aboutus01-07/>

これからもメールマガジンをよろしくお願いたします。

---

## 2、☆★アレルギー支援ネットワークメールマガジン発行 100 号記念★

食べながら備える!!『アルファ化米 (特定原材料等 27 品目不使用)』普段から食べてみようキャンペーン

---

非常食の備蓄をしていますか？

買ってはみたけど、食べてないからよくわからない…。

非常時に安心して食べられるよう、ふだんの食事でも食べ慣れておくことも、防災への第一歩かもしれません。

東日本大震災発生から 4 年が経過しました。

今ここでもう一度、アレルギーっ子の備蓄について見直してみませんか。

毎日使って食べる「流通備蓄」を意識して、ぜひこの機会にご家族で『アルファ化米 (特定原材料等 27 品目不使用)』を食べてみましょう！

今回のキャンペーンでは、2 種類の価格帯のアルファ化米をご用意しました。

～お試し用やレジャーなど普段使いに！～

☆残り期限 1 年半～2 年半程度の安心米きのこ・安心米ひじき

各 1 袋 200 円 (税込・送料別)

～備蓄として充分お使いいただけます！～

☆残り期限 3 年～4 年程度の安心米わかめ・安心米きのこ・安心米ひじき

安心米わかめ：250 円 安心米きのこ・ひじき：270 円 (各 1 袋 税込・送料別)

30 袋以上のご注文で送料無料です。送料はショッピングカートにてご確認ください。

数量限定のため、無くなり次第、販売終了となります。ご了承ください。

申込締切は 2015 年 4 月 30 日着分までとなっております。

お早めにお申し込み下さい。

尚、お申し込みはインターネットショッピングカートのみとなっておりますので、ご了承下さい。

●ショッピングカートはこちらから

<http://www.alle-net.com/cart/>

●アルファ化米についてはこちらから

皆様からのお申込をお待ちしております。

---

### 3、第10期アレルギー大学 申込み受付のご案内

---

4月1日（水）より第10期アレルギー大学の受付が開始となります。

本年度は、愛知、静岡、岐阜、三重、千葉、新潟、京都、沖縄での開催が決定しました。  
ベーシックプログラム（1日講座）は5会場（愛知、岐阜、三重、新潟、千葉）で開催予定です。

アレルギー大学は調理師、栄養士、保育士、養護教諭など、専門職の方はもちろん、企業のアレルギー対応、患者家族の知識向上など全てにおいて、アレルギーのプロがお応えする現場での即戦力となる講座となっております。

皆さまからのお申込みをお待ちしております。

アレルギー大学 HP はこちら <http://www.alle-net.com/alledai/alledai01-01/>

お申込みはこちら <http://www.alle-net.com/alledai/alledai16-01/>

---

### 4、2015年度総会開催のご案内

---

日頃は、アレルギー支援ネットワークにご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

2015年度総会を5月31日（日）に開催いたします。

議会の議決権は正会員のみですが、出席者は議長の指名により発言をすることができ、  
一般会員、法人（賛助）会員、Web無料会員の方どなたでも総会に出席していただくことができます。

ご出席される場合は、資料の準備と定員（54名）の確認の為、  
5月22日（金）までにメール [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com) へご連絡をお願い致します。

\*\*\*\*\*

「2015年度総会開催のご案内」

日時：2015年5月31日（日） 13：00～

場所：中村生涯学習センター 視聴覚室

〒453-0021 名古屋市中村区鳥居通3-1-3  
地下鉄「本陣」下車4番出口より南西へ300m

駐車場22台あり 満車の場合はお近くのコインパーキングをご利用ください

内容：（1）平成26年度 事業報告  
（2）平成26年度 収支決算報告  
（3）平成26年度 会計監査報告  
（4）平成27年度 事業計画（案）  
（5）平成27年度 収支予算（案）  
（6）講演：副理事長 坂本龍雄  
（7）その他

\*\*\*\*\*

アレルギー支援ネットワークの活動を企画運営する理事・スタッフとの交流の機会にもなります。

皆さまからの忌憚のないご意見もいただきたいと思いますので、是非一度ご出席ください。

---

## 5、【2015年度】「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会のお知らせ

---

学校や園でアナフィラキシーのリスクを持った子どもたちへの対応が、教育・保育の現場で大きな課題になっています。

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークでは、教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を 2013 年度より開催してまいりました。

2013 年度は、11 回開催 930 名

2014 年度は、7 回開催 500 名

の方にご参加頂きました。

皆様から大変好評を頂きましたので、2015 年度も講習会を開催することを決定いたしました。

\*\*\*\*\*

「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会  
開催日：4 月 28 日（火） 6 月 2 日（火）  
講師：あいち小児保健医療総合センターアレルギー科 医師  
会場：あいち小児保健医療総合センター 大会議室（地下 1 階）  
時間：午後 4 時～ 6 時（受付開始時間：午後 3 時半）  
資料代：ひとり 1,000 円

\*\*\*\*\*

内容等の詳細は、チラシの内容をご確認の上お申し込みください。

---

## 6、アレルギーっ子フェア開催（3月7日・8日）のご報告

---

2015 年 3 月 7・8 日の 2 日間、

名古屋国際会議場にて「アレルギーっ子フェア」を開催いたしました。

7 日 195 名、8 日 168 名と両日とも、大変多くの皆様に足を運んでいただき、大盛況の中終えることができました。

ご来場いただきましたみなさま誠にありがとうございました。

フェアは、第 9 期アレルギー大学修了生の授与式から始まり、環境・スポーツ・アレルギーの講演会、給食管理の情報システムの取組みと将来の展望のミニシンポジウム、小児アレルギーエドゥケーターによる体験コーナー、栄養相談、子ども企画、アレルギーっ子の防災対策、企業ブース等盛りだくさんの内容で行いました。参加して下さった皆様、いかがだったでしょうか。

また、わくわくスタンプラリー抽選会は楽しんでいただけましたでしょうか。

アレルギー支援ネットワークの活動を応援して下さいっている企業様から、素敵な商品をご提供頂き行なう事ができました。

今後も、皆様を楽しめ、ためになるようなフェアを開催してまいります。

ぜひ次回の参加をお待ちしております。

ちなみに、次回は 2016 年 3 月 20 日（日）です！！  
詳細が決まり次第お知らせしますので、お楽しみにお待ちください♪

---

## 7、第 12 回 千葉アレネット情報

---

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷 利恵です。

新学期、皆さまはどのようなスタートを切る予定でしょうか。  
千葉アレルギーネットワークもアレルギー大学の千葉会場の受付を開始いたします。

そして、「食物アレルギーの誤食&ひやりはっと集」を先月から公開しております。  
県内の患者会や家族会、HP など呼びかけ、行政の方々にもアンケート調査にご協力いただきました。  
子どもにも読みやすいように 4 コマ漫画を取り入れました。

無料でダウンロード出来ますので、ご活用ください。ダウンロードは来年の 3 月末までとなります。

<http://www.chiba-allergynet.jp/page-900>



---

## 8、東海アレルギー連絡会・交流会 開催のお知らせ

---

### 【東海アレルギー連絡会とは（紹介）】

2000 年 11 月、愛知でアレルギーの会全国交流会を開催した際、  
東海地区のアレルギーの会が協力して開催地実行委員会を作り、その準備 をおこないました。

また、阪神淡路大震災の時には、アレルギーの連絡会が組織されていたため、  
助け合うことができたという教訓を受け継いで、震災対策など 日常的な協力関係を持つ会  
をつくろうと意見がまとまり、会の運営申し合わせなどを確認し、2001 年 6 月に発足しました。

2006年7月の総会では「会の運営申し合わせ」を「会則」とし、代表など役員体制が決められました。

以来、年に3回程度の交流会と、年に1回の総会を開催し、震災対策はもちろんのこと、会の運営や給食など地域の問題も含めて、経験交流をしています。

\*\*\*\*\*

#### 【次回の交流会】

日時：2015年4月19日(日) 13:30-16:30 緑生涯学習センター  
名鉄「鳴海」駅から徒歩5分  
駐車場あり。但し少ないので満車の場合は、近くのコインパーキングをご利用ください。  
コインパーキングは駅周辺にたくさんあります。(最大600円~900円)

- 議題
1. 各会の活動報告と情報交換
  2. 入園・入学時の話し合い、給食センター話し合い 報告
  3. 南海トラフ地震に備えて
  4. 食物アレルギー研究会(2/1)・参加報告(中西)
  5. その他

\*\*\*\*\*

支援ネットのHPも是非ご覧下さい。  
<http://www.allie-net.com/network/network04/network04-02/>

患者会の無い地域にお住まいの、個人の参加も歓迎しています。

東海アレルギー連絡会  
事務局 中西里映子

---

## 9、アレルギーっ子の防災

### ★東日本大震災におけるアレルギー患者家族の支援活動最終報告

---

2011年3月11日の東日本大震災直後より、被災されたアレルギー患者家族のために、全国の多くの皆さまから支援金をいただきました。

また、全国より73名のボランティアさんが、被災地へバイクや車で向かい、患者家族の方へ物資を届けるなどの直接支援を、名古屋の事務局においては、被災地から届くSOSの対応業務を担い、私どもの活動を支えてくださいました。

いただいた支援金は、2014年3月末までにすべて支援活動に使わせていただきましたので、報告をもちまして御礼にかえさせていただきます。

誠にありがとうございました。

HPに、活動報告の詳細を掲載いたしますのでご覧いただければ幸いです。

理事 中西里映子

---

## 9、アレルギーっ子の防災

### ★★第18回 「アレルギー患者団体の共助の仕組みづくりー2」

---

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。  
今回も災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について紹介いたします。

今回は、「アレルギー患者団体の共助の仕組みづくり」について紹介します。  
第7回原稿にて「東海・関西・中国地域防災対策ネットワーク会議」（2014年3月21日開催）について紹介しました。今回はその続編です。第2回会議が2014年11月13～14日に開催されました。

今回の会議には、以下の団体から参加がありました。  
愛知（名古屋市）：NPO 法人アレルギー支援ネットワーク  
京都（京都市）：NPO 法人京都アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと  
京都（京都市）：食物アレルギーと家族の会「ひこばえあおむしの会」  
大阪（松原市）：アレルギーっ子親の会「はすの会」  
兵庫（姫路市）：姫路食物アレルギーサークル「Olive（オリーブ）」  
広島（広島市）：NPO 法人ヘルスケアプロジェクト  
山口（山口市）：アレルギーっ子の会「ぼれぼれ」

前回の会議は京都市内の「こどもみらい館」の会議室で半日のディスカッションでしたが、今回はパワーアップして、さらに内容の濃いカリキュラムとなりました。QOLトラベルのアレルギー対応の食事を提供してもらえるオーダーメイドのツアーに便乗する形で、南紀白浜まで出かけ、1泊2日の行程を楽しみながら、日常生活から離れた環境で防災の取り組みについて集中した討議をすることができました。

QOLトラベルのツアーで提供された食事については、「はすの会」のブログで紹介されていますので、こちらをご参照下さい。

「西日本アレルギー防災対策ネットワーク会議」 in 和歌山県 一日目  
<http://hasunokai1515.blog65.fc2.com/blog-entry-1219.html>  
「西日本アレルギー防災対策ネットワーク会議」 in 和歌山県 二日目  
<http://hasunokai1515.blog65.fc2.com/blog-entry-1221.html>  
QOLトラベル  
<http://qoltravel.net/>

1日目の午後は和歌山県立情報交流センター「Big・U」の会議室にて、NPO 法人レスキューストックヤードの浦野さんによる講話。いろいろな災害で被災地がどんな状況になったか、その教訓としてどんな備えをしていくべきかの提案について、聴講しました。最後の質疑応答では活発な意見交換がなされ、そのまま、今後このネットワークはどんな活動をしていくのかという翌日の討議テーマに突入して、大いに盛り上がりました。途中で時間切れ打ち切りとなってしまったのは残念でしたが、各地から参加したメンバーが、今後もネットワーク活動をしていきたいという共通の思いを持っていたのは、成果だったと思います。翌日の討議のための同じスタートラインに立てたと思います。

2日目の午前中、1つめは「広島の集中豪雨災害」の報告。広島から参加した「NPO 法人ヘルスケアプロジェクト」のメンバーから、被害の概要とアレルギーっ子の支援事例についての説明がありました。災害復旧復興支援をするいわゆる「災害系 NPO」ではない、アレルギー関係団体による報告というのがミソです。アレルギー対応の視点で支援活動の状況が語られ、大変参考になる事例でした。

最後は今回のメインテーマ「今後、このネットワークの活動はどう進めていくのか」についての討議です。2件の講話・報告を聴いた後で、取り組む内容によっては大変な活動になるかもしれないことを確認した上で、あらためて、今回の会議に参加した各団体の意識確認をしました。情報収集・動向調査のつもりで参加したはずが、いつの間にか強制的に参加団体とされてしまうというのは納得できないでしょうし、地元を持ち帰って会員の確認を取らないと決められないという各団体の事情もあるでしょう。また、今回の会議に参加していない団体にもネットワーク参加の呼びかけをしたいという思惑もあり、まずは参加団体募集の呼びかけ、名簿作りから始めることが決定されました。

続いて、このネットワーク会議の名称を考えることになりました。これもまた議論が盛り上がりすぎて時間切れと

なり、帰りのバスの中で続きをやるという想定外の事態となりました。各自が候補を提案して、全員投票により多数決で決めることになり、結果、「レスキューアレルギー」となりました。

いやはや壮大な名が付いてしまいました。「東海・関西・中国地域防災ネットワーク会議」から、地域限定がはずれ、防災がはずれ、アレルギー支援に関しては全国規模で何でも取り組むネットワークに格上げされてしまった感があります。防災の視点から支援できればと考えていた私にとっては何とも驚愕の結果です。各団体からしてみれば、それだけ期待が大きいということの表れだと受け止めることにしたいと思います。

アレルギー関係団体の連携の形が徐々に増えてきて頼もしい限りですが、私にとってはどんどんプレッシャが高まってきます。このネットワークに防災啓発団体や地域防災組織を結びつける仕事が残っていますから。ともかく、やれることをひとつひとつ取り組んでいくことに変わりありません。

今後事務局から、各団体への参加呼びかけ、名簿作りの進め方について情報発信されることと思います。次回第3回会議は2015年度中に広島にて開催することも決まりました。次は、活動の目的や内容・対象範囲など具体化していくことが期待されます。これまでの2回の会議同様、助成金申請をして事業を進めるため、詳細はまだ未定です。

2回の会議で進捗はこれだけ？というのは勘弁して下さいね。活動の規模が大きくなると進捗が遅くなりがちになるのは否めません。いろいろな調整が増えるし、地元活動にさらに広域活動を追加するのですから致し方ないかと思えます。あせらずコツコツ「ぼれぼれ」でいきましょう。何はともあれ、参加された皆様、お疲れ様でした。

「防災ネットワーク会議」あらため「レスキューアレルギー」の動向については、今後も活動の進捗に応じて紹介していきます。

読者ご要望に応え、次回から新しいシリーズを始めます。お楽しみに。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。

アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。

アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先: info@alle-net.com

---

## 9、アレルギーっ子の防災

★★★防災にかける思い アレルギーっ子親の会「はすの会」 下山まきえ

---

初めまして。私は大阪府松原市を中心にアレルギーっ子とそこご家族を支援させて頂いている

アレルギーっ子親の会「はすの会」の下山まきえと申します。

(当会は2004年に立ち上げられたアレルギー親の会『蓮の会』を2009年に下山が引き継ぎ、会名もアレルギーっ子親の会「はすの会」とし活動しております)

私自身は3人の子どもの持つ親であり、今年23歳になる長男は5P-症候群という染色体異常を持ち、生まれつき重度の重複障がい日常生活のすべてにおいて介護や在宅酸素などが必要です。

そして次男(20歳)と長女(13歳)は共に生後間もない頃からアトピー性皮膚炎を発症し、その後食物アレルギー、喘息(次男のみ)、アレルギー性鼻炎・結膜炎などを既往歴に持つ重度のアレルギー疾患患者です。



アレルギー支援ネットワークさんとは、数年前から当会が地元でのアレルギー啓発活動行う際にヒヤリはっと事例集を送って頂いたり、「西日本アレルギー防災対策会議」(現：レスキューアレルギー)や京都で開催されていたアレルギー大学等、毎回 支援ネットワークのみなさんにお会いするたび、学びや気づきがあり、私たちの活動に刺戟を与えて下さっています。

初めて参加させて頂いた京都での防災会議。

もしあの会議に参加しなければ私自身今でも「防災」から目をそらせていたことだと思います。

なぜなら私の中で「防災=何をしたらいいのかわからない=漠然とした不安が一杯で怖い」そんな思いを持っていたからです。どうして自分や家族を守るための防災に怖いという思いをもっていたかということ、私の住む松原市は今まで大きな災害(震災)に見舞われることなく今に至ります。あの阪神淡路大震災の時ですえ甚大な被害に遭うことはありませんでした。

でも私自身は阪神淡路大震災時、入院中の長男、私自身が高熱の為 生後3か月の次男(すでにアトピー性皮膚炎を発症)と一緒にではなく、あの暗闇の中から響きわたるような地鳴りと共に、地面が揺れるなか、その時に子ども達と一緒に無い事の恐怖、その後子ども達の安否の確認をとれるまでの恐怖で、心も体も動きが取れませんでした。

その後、長男も退院し一緒に暮らせるようになった頃、避難訓練をしようと必要な物を準備したのですが、必要最低限の子どもの物と酸素を担ぎながら車いすを押し、小さな次男の手をひき・・・到底、私一人では移動する事すら無理でした。そんな自分の無力感に押しつぶされそうになった事をよく覚えています。

そのころから、どうしたらこの子たちを守れるのかが分からず、防災のことについて目を背けようとしていたのかも知れません。

ただ行政の備蓄品に関しては、阪神淡路大震災後からはアレルギー配慮されたものを用意して頂けるようお願いはしてありました。

その後も、日本各地いたるところで災害は起き、そのつど背中に冷や水を浴びせられたかのような気持ちになりつつも、まだ目を背けようとしていました。

しかしあの東日本大震災が起こり、当時の様子や現地のアレルギー疾患を持つ親御さんの思いや体験談を様々なツールや防災会議を通じ知ること、もう目を背けるのはやめようと思い、改めて自分たちで出来る事と必要な事、その範囲は何かと考えました。

まずは生きる事。生き延びる事。そして避難先で命の危険を回避できる生活を営むこと。

そして出来るだけ、こども自身が自身のアレルギー疾患を正しく理解し(年齢にもよるとは思いますが)、そして疾患を持つことを出来るだけ周りの人にも知ってもらおう事で、万が一 親がいない状態でも子ども達が命の危険にさらされない事。

その為には一体私たちに何が出来るのだろうか？そして私たちが住む地域では何が必要だろうか？

防災への関心が他人ごとのようなこの地域で何が出来るのだろうか？

そして出した答えが、「手の届く範囲からアレルギー×防災について知って頂こう。そして少しずつでも周囲を巻き込みながら、その活動を継続させることで自助・共助・公助の向上につなげよう」でした。

そんな思いを形にするため、松原市からの助成を受け「アレルギーがあっても安心～みんなで学ぶ防災教室～」を2回の連続講座で開催しました。

第1回目は2月8日(日)に開催した「ゲームで学ぼう！考えよう！～私たちの避難所～」です。

第2回目は2月21日(土)に開催した「防災備蓄で親子クッキング」(アレルギー対応)です。

次回以降、2回分の講座内容を順に紹介させていただきます。活動事例としてご参考になれば幸いです。

アレルギーっ子親の会「はすの会」  
下山 まきえ  
[はすの会 Blog]  
<http://hasunokai1515.blog65.fc2.com/>



[Blog QR コード]

---

## 10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★食物アレルギー対応クッキング&プチ講座 開催決定！！  
テーマ『食品の低アレルゲン化について～安全に食べるということ～』

---

食物アレルギー対応クッキング&プチ講座  
テーマ『食品の低アレルゲン化について～安全に食べるということ～』

日時：2015年4月16日（木曜日）  
10時～13時

場所：豊橋市総合福祉センターあいトピア  
料理実習室  
住所：〒440-0055 豊橋市前畑町115番地  
TEL：0532-57-2601  
<http://toyohashi-shakyo.or.jp/wordpress/shakyo/shisetsu/aitopia>

講師：仲 佳代 先生  
(管理栄養士・認定NPO法人アレルギー支援ネットワークスタッフ)

参加申し込み：[rinrintoyohashi@yahoo.co.jp](mailto:rintrintoyohashi@yahoo.co.jp)  
又は、RINRIN♪豊橋アレルギーっ子の会のブログのメッセージ欄からお申し込み下さい。  
☆先着15家族  
☆お子様連れのご参加も可能です。

・クッキングメニューは、7大アレルゲン、大豆、ナッツ類不使用です。  
内容が、決定しましたら、会のブログで公開、また申し込み者にお知らせ致します。

RINRIN♪豊橋アレルギーっ子の会のブログ  
<http://rinrintoyohashi.dosugoi.net/>

お問合せ先：  
RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会  
代表 平田 佐規子  
携帯：090-3421-1246  
メール：[rinrintoyohashi@yahoo.co.jp](mailto:rinrintoyohashi@yahoo.co.jp)

---

## 10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★4月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

---

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒にお話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：<http://www.alle-net.com/>

---

## 11、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

---

アレルギーに関する勉強会・イベント情報などをホームページにて掲載しております。皆さまの情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

---

## 12、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

---

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。  
お問い合わせ : info@alle-net.com

-----  
=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは  
asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部  
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----  
★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町2-45-6

▽TEL : 052-485-5208      ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----